

議案第56号

大牟田市市道の構造の基準に関する条例の一部を改正する条例
の制定について

大牟田市市道の構造の基準に関する条例の一部を改正する条例を次のとおり制定するものとする。

令和2年9月1日提出

大牟田市長 関 好 孝

大牟田市市道の構造の基準に関する条例の一部を改正する条例
大牟田市市道の構造の基準に関する条例（平成25年条例第60号）の一部を次のように改正する。

第4条第1項中「停車帯」の次に「、自転車通行帯」を加え、同条第5項中「の車道」の次に「（自転車通行帯を除く。）」を加える。

第6条第2項中「副道」の次に「（自転車通行帯を除く。）」を加える。

第8条の次に次の1条を加える。

（自転車通行帯）

第8条の2 自動車及び自転車の交通量が多い道路（自転車道を設ける道路を除く。）には、車道の左端寄り（停車帯を設ける道路にあっては、停車帯の右側。次項において同じ。）に自転車通行帯を設けるものとする。ただし、地形の状況その他の特別の理由によりやむを得ない場合においては、この限りでない。

2 自転車の交通量が多い道路又は自動車及び歩行者の交通量が多い道路（自転車道を設ける道路及び前項に規定する道路を除く。）には、安全かつ円滑な交通を確保するため自転車の通行を分離する必要がある場合においては、車道の左端寄りに自転車通行帯を設けるものとする。ただし、地形の状況その他の特別の理由によりやむを得ない場合においては、この限りでない。

3 自転車通行帯の幅員は、1.5メートル以上とするものとする。ただし、地形の状況その他の特別の理由によりやむを得ない場合においては、1メートルまで縮小することができる。

4 自転車通行帯の幅員は、当該道路の自転車の交通の状況を考慮して定めるものとする。

第9条第1項中「道路には」を「第3種（第4級及び第5級を除く。次項において同じ。）又は第4種（第3級及び第4級を除く。同項において同じ。）

の道路で設計速度が1時間につき60キロメートル以上であるものには」に改め、同条第2項中「多い」の次に「第3種若しくは第4種の」を加え、「道路（」を「道路で設計速度が1時間につき60キロメートル以上であるもの（」に改める。

第10条第1項中「自転車道」の次に「又は自転車通行帯」を加える。

第11条第1項中「自転車道」の次に「若しくは自転車通行帯」を加える。

第32条第3号中「車道」の次に「（自転車通行帯を除く。）」を加える。

第39条第2項及び第40条中「第31条第1項第12号」を「第30条第1項第12号」に改める。

第41条中「第8条」の次に「、第8条の2第3項」を加える。

第42条第5項及び第43条第4項中「第31条第1項第12号」を「第30条第1項第12号」に改める。

付 則

この条例は、公布の日から施行する。

提案理由

道路構造令の一部改正に伴い、車道に設ける自転車通行帯の規定を追加するとともに、関係規定の整備を図るため、条例の一部改正を行うもので、地方自治法第96条第1項第1号の規定により、議会の議決を求める。